

第2回ワークショップ  
公益財団法人日本自然保護協会  
2026年1月22日

## 第2回ユネスコ未来共創プラットフォーム事業ワークショップ案内

### ■事業名：

令和7（2025）年度ユネスコ未来共創プラットフォーム事業

### オンライン研修②：

1. 「生物圏保存地域世界大会と日本の貢献：リマから杭州、その先へ」

飯田義彦 氏（筑波大学准教授・日本MAB計画支援委員会委員）

2. 「国際交流の現場—生物圏保存地域世界大会が広げたつながり」

門田朔（綾ユネスコエコパーク推進室・愛媛大学）

進行：若松伸彦（日本自然保護協会）

日時：2026年2月5日（木）13:30～15:30

13:30～14:30 講演、14:30～質疑応答

場所：zoomを使用したオンラインで実施

### ■プログラム要旨：

1. 生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）は、1976年の登録開始以来、世界で142カ国、784地域を包含する地球規模のネットワークを形成している。およそ10年に一度世界大会が開催され、1983年ミンスク、1995年セビリア、2008年マドリード、2016年リマ、2025年杭州で開催されてきた。発表者はリマ、杭州の世界大会に現地参加し、日本から世界ネットワークに対する貢献活動を観察する機会を得てきた。本発表では、両世界大会のようすを概観するとともに、なぜ日本の貢献が必要なのかをワークショップ参加者とともに考えていきたい。

参考資料（英語）：WCBR Bulletin <https://enb.iisd.org/sites/default/files/2025-09/wcbr5.pdf>

2. 第5回生物圏保存地域世界大会に参加した立場から、各国の生物圏保存地域（BR）関係者や同世代の若者との交流の実際を紹介する。発表者は、各国の実践者や関係者とのコミュニケーションを重視し、大会期間中を通じて積極的に交流を行った。その経験を踏まえ、BRやMABに関わることの面白さや価値を、「参加してよかった」という率直な実感を起点として共有し、次世代を担う若者の参画や、この分野に継続的に力を注ぐ意義について、意見を交わしたい。

### ■以下のアドレスにアクセスし、ご参加ください。

トピック：2025年度第2回BRセミナー

時刻：2026年2月5日 01:30 PM 大阪、札幌、東京

Zoomミーティングに参加する

<https://us06web.zoom.us/j/81158132273?pwd=0Rq04cqfkET1wzXyAyZdT90HG3PI8P.1>

ミーティングID: 811 5813 2273 パスコード: 032232

- ・入室しましたら、詳細より名前の変更にて、所属とお名前を分かるようにしてください。
- ・講演中は音声はミュート設定でお願いします。ビデオはオンのままでも構いません。
- ・受講後のアンケートにぜひご協力をお願いします。  
<https://forms.gle/nphhdApBYyVa1MKF7>
- ・過去の動画（2020年度第1回から前回まで）は以下からご覧になれます。  
<https://linktr.ee/nacsjbr>